

自治会のあり方検討部会

創立 50 周年記念事業「自治会のあり方検討」

滝沢市自治会連合会は、平成 16 年度に自治会の事務局長 6 名を構成員とした「今後の自治会のあり方検討会」を設置し、約 3 か月にわたり議論を重ね、地域活動の課題の具体的な改善方針について提言をまとめている。今般、創立 50 周年を迎えるにあたり、前回の提言から大きく変化した自治会を取り巻く社会環境等を踏まえ、今後の市民主体の地域づくり活動の方向を展望するため、自治会のあり方についての新たな提言をとりまとめることとした。

自治会のあり方の検討部会

自治会のあり方検討部会は、南部・中部・北部の各地区 3 名ずつの自治会長で構成され、令和 3 年 5 月から約 10 か月にわたり、月 1 回のペースで開催された。部会のメンバーは、事前に提示されたテーマに基づき、自分の所属する自治会の現状と課題・課題解決に向けての意見等をまとめて部会に参加し、部会では一人一人の発表をもとに意見交換を行い、熱心に議論を重ねた。この意見交換と議論を通じて、滝沢市の人口は現在でも増加し続けているものの、市内には人口が増加している地域と人口が減少している地域があること、自治会を取り巻く社会環境も地域間で違いがあることを把握するとともに、それぞれの地域の特性、世帯規模や社会環境に応じた「これからの自治会の姿」についての提言を取りまとめた。



モデル自治会によるワークショップ

自治会のあり方検討部会での検討と並行して、「モデル自治会」として市内の3自治会（大釜南自治会、大沢自治会、牧野林中央自治会）が、それぞれの自治会の活動について話し合うワークショップを行った。

このワークショップは、自治会ごとに全3回にわたって行われ、自分が住む地域を見直し、こうありたいと考える将来の地域の姿、その地域の姿を実現するための課題と解決策について話し合われた。ワークショップ参加者は、和気あいあいとした雰囲気の中、積極的に地域への思いを語り合い、自分たちの目指す地域の将来像を共有した。

ワークショップテーマ

第1回「自分たちの地域を知る」

第2回「自分たちの地域の未来をデザインする」

第3回「未来に向けた具体的な行動を！」



大釜南自治会

大沢自治会



牧野林中央自治会



大釜南自治会

大釜南自治会は、平成 14 年 10 月に完了した土地区画整理事業の後、新興住宅やアパートが増加し、代々農業に従事している世帯と転入してきた世帯が混在する地域にあり、地域内には 731 世帯、1,814 人が住んでいる。

ワークショップは、毎回、役員会終了後に開催され、3 班に分かれて「目指す地域の姿」を話し合い、その実現に向けてどう活動していくか意見交換を行った。

テーマ	開催日	人数
第 1 回 「自分たちの地域を知る」	令和 3 年 8 月 20 日(金)	24 人
第 2 回 「自分たちの地域の未来をデザインする」	令和 3 年 9 月 17 日(金)	16 人
第 3 回 「未来に向けた具体的な行動を！」	令和 3 年 10 月 20 日(水)	17 人

～目指す地域の姿～

『どなたでもスーパーボランティア～安全で安心、誰もが活躍する自治会』

『世代をこえてつながる笑顔あふれるまち』

『自然豊かで安心して子育てできるまち』

『夢が叶うまち大釜』



大沢自治会

大沢自治会は、農家が多く、滝沢市の人口が増加し続ける中、世帯の移動がほとんどなく、世帯数、人口ともに減少傾向にある地域で、地域内には 212 世帯、563 人が住んでいる。

ワークショップは、毎回、役員会終了後に開催され、3 班に分かれて「目指す地域の姿」を話し合い、その実現に向けてどう活動していくか意見交換を行った。

テーマ	開催日	人数
第 1 回 「自分たちの地域を知る」	令和 3 年 10 月 6 日 (水)	23 人
第 2 回 「自分たちの地域の未来をデザインする」	令和 3 年 11 月 10 日 (水)	19 人
第 3 回 「未来に向けた具体的な行動を！」	令和 4 年 1 月 21 日 (金)	18 人

～目指す地域の姿～

『誰にでも“優しい地域”(と自慢できる地域)』

『地域の宝を再発見!』

『にぎやか・つながり・住民交流がある地域』



牧野林中央自治会

牧野林中央自治会は、平成 20 年代から民間事業者による大規模な宅地分譲が行われている地域にあり、令和 2 年 4 月に元村中央自治会から分離独立した。地域内のほとんどの世帯が地域外から転入してきた世帯であり、889 世帯、2,717 人が住んでいる。

ワークショップは、毎回、週末に開催され、2 班に分かれて「目指す地域の姿」を話し合い、その実現に向けてどう活動していくか意見交換を行った。

テーマ	開催日	人数
第 1 回 「自分たちの地域を知る」	令和 3 年 9 月 19 日(日)	11 人
第 2 回 「自分たちの地域の未来をデザインする」	令和 3 年 10 月 17 日(日)	10 人
第 3 回 「未来に向けた具体的な行動を！」	令和 3 年 11 月 14 日(日)	10 人

～目指す地域の姿～

『暮らしやすい地域』

『安心・安全なまちづくり』

『住民満足度の高いまち』

『世界一の平和な自治会』



提言書 ～これからの自治会のあり方～

自治会のあり方検討部会による検討とモデル自治会によるワークショップをもとに取りまとめた内容は、令和3年度第3回自治会長研修会における意見交換を経て、「提言書～これからの自治会のあり方～」として作成された。

提言書では、これから目指すべき方向性を導き出し、その実現のため「これからの自治会の姿」を次のとおり提案している。

1 必要とされる自治会を目指します

- (1) 地域のつながりをつくります
- (2) 防災・防犯のネットワークをつくります
- (3) 地域のニーズに対応した活動をします
- (4) 行政と地域をつなぎます

2 参加しやすい自治会を目指します

- (1) 多様な事業運営の仕組みをつくります
- (2) 子育て世帯との接点をつくります
- (3) 地域と関わりをもてる機会をつくります
- (4) 高齢者の参加しやすい環境をつくります

3 負担感のない自治会を目指します

- (1) 事業の内容を見直します
- (2) 運営規模の適正化を図ります
- (3) 活動の担い手をサポートします

この提言が契機となり、単位自治会が、それぞれの地域の特性、世帯規模や社会環境に応じた取り組みや活動により、更に発展することを期待している。